

まちの話題

ANAグループが黒大豆移植作業を体験(6月15日)

ANAグループ労働組合に所属する社員の皆さんが泉地区で丹波黒大豆の苗植え作業を手伝われました。これは地域貢献活動の一環として、約3年前から(株)小田垣商店と協同で行われています。この日は、客室乗務員や整備士の皆さんなど18人が参加。社員の皆さんは泉地区営農組合の皆さんと一緒に大きくなった苗を移植機を使って、1本ずつ畑に植えていきました。



トライやる・ウィーク(6月3日~7日)

市内各中学校で、トライやる・ウィークが実施されました。6月6日、畑休燃料株式会社 篠山給油所へ取材に行き、篠山中学校から来られた紙谷昊さんと美谷龍佳さんにインタビューをしました。

「なぜこの事業所を選んだのですか」という質問に美谷さんは、「ここには、お父さんとよく来ていて、実際に働いてみたいと思ったからです」、紙谷さんは「町の人と関わって、接客業について学びたかったからです」と答えられました。

このトライやる・ウィークを通じて美谷さんと紙谷さんは「知らない人もかかわって、大きな声であいさつができるようになりたい」「接客業を上手にして、将来入る会社に大きく貢献していきたい」と話してくれました。



紙谷昊さん

美谷龍佳さん



インタビューの様子



この記事の原稿と写真を担当しました

篠山中学校2年 鹿子木太一さん

モンキードック認定(6月22日)



モンキードック(サル追い払い犬)を新たに認定しました。認定されたのは、写真右から山内佑真さんの「のすけ(畑宮)」、足立浩子さんの「ボス(安口)」、伊藤梓さん(当日代理出席)の「サップ(瀬利)」の3頭。ニホンザルの群れを追い払い、農作物被害を防ぎます。

高校生が左官体験(6月14日)



篠山産業高等学校電気建設工学科建設コースの2年生12人が左官実習を受けました。これは職業選択の幅を広げようと企画されたもので、地元で左官業を営まれている月森左官工業所の月森一延さんから3人が講師を務めました。生徒たちは、左官について学びながら、壁塗りに挑戦しました。

瑞宝双光章

藤本まり子さん(今田町休場)
元人権擁護委員



2005年から2023年までの18年にわたり人権擁護委員を務めてこられた藤本まり子さん。勤めていた湊川短期大学を退職後、人権擁護委員に委嘱されました。人権相談をはじめ、幼小中学生に対して人権尊重の考える機会をつくる「人権教室」の開催、小中学生から悩みや相談を受け付ける「SOSミニレター」への対応などに取り組んでこられました。また、委員2年目から、篠山市人権擁護委員協議会の副会長に就任。2009年に発足した柏原人権擁護委員協議会では、2016年から会長を2年間務め、組織の発展に寄与されました。

相談では、いじめや借金問題、遺産相続など、内容は多岐にわたりました。「悩みを抱える方を何とか助けてあげたいという思いで向き合ってきました」と当時を振り返る藤本さん。受章には、「長きに渡り続けてこれたのは、仲間の委員や市役所人権推進課や教育委員会の皆さんの協力があったからこそ、本当に感謝しています」と、その喜びを語りました。

春の叙勲

栄光輝く

「測量の日」功労者 感謝状

測量・地図に関する普及啓発に顕著な功績のあつた個人・団体に送る感謝状



森本宏之さん、西羅英理さん、加賀尾宏一さん、赤井公義さん(写真左から)

伊能忠敬笹山領探索の会(加賀尾宏一会長)

江戸時代に日本全国を歩いて測量し、精巧な日本地図を作った伊能忠敬。その足跡を研究するため結成された「伊能忠敬笹山領探索の会」に国土院から「測量の日」功労者感謝状が贈られました。忠敬は1811年と1814年に笹山藩を訪れ、10日間滞在して測量したことが記録に残されており、探索の会では、忠敬が丹波笹山を測量したという史実を広く市民に伝えようとして、活動を続けてこられました。歴史資料の調査や現地踏査に始まり、小学校や地域への出前教室、忠敬が測量した地図・伊能大図のフロア展示、冊子やマップの作成、伊能忠敬が測量に訪れたことを伝える標柱12カ所(北新町、糯ヶ坪、西岡屋、日置、福住、西谷、上板井、追入、大沢、宇土、草野、今田)の設置、標柱を巡るバスツアーなどに取り組まれてきました。加賀尾宏一会長は「これまでの活動が評価され誇りに思います。忠敬の笹山での足跡には多くの課題が残されているので、さらに研究をすすめたい」とその思いを話されました。

長年の功績や日々の努力を实らせ、
栄光に輝いた皆さんをご紹介します



西紀中地区総合防災訓練(7月7日)

西紀中地区で震度6弱の地震を想定した防災訓練が行われました。高坂・栗柄・倉本・坂本では土砂災害により集落が孤立したとして、陸上自衛隊と篠山警察署が急行。模擬的に設定した寝たきりの高齢者や車椅子利用者なども含めた地域住民が救助されました。車椅子の避難を体験した佐藤喬さんは「孤立集落を想定した本格的な訓練を経験できてよかった」と話されました。

また、西紀小学校では、各自治会から避難した130人が全体訓練へ参加。防災講話、防災ヘリの救出訓練、自衛隊のカレー炊き出しなどを通じて防災意識を高めました。

きょうもまあるいね! #102



★詳しくは、4・5ページをご覧ください。

高校生が考えたKAKI×HATA氷(6月27日)



左から西村綾音さん、小林信通さん(株式会社大福堂取締役専務)、長澤莉子さん

篠山東雲高等学校3年生の長澤莉子さん、西村綾音さんが開発した柿のシロップとピューレを使用したKAKI×HATA氷が、(株)大福堂で数量限定・土日祝日限定で提供されています。長澤さんと西村さんは、「季節外れの味を観光客などにも楽しんでほしい」と話されました。

パンフレットラックで国際博を盛り上げ(7月4日)



丹波篠山市で2025年に開催される丹波篠山国際博を盛り上げようと、篠山産業高等学校の生徒たちが、木製のパンフレットラック17基を製作しました。市が若者にも関心をもってもらうと、同校に製作を依頼し、2カ月をかけて製作に取り組みました。木製ラックはA4判のパンフレットが収容できる4段のラックで、市内17カ所で設置します。



6年ぶりの消防団ポンプ操法大会(6月23日)

市内21分団の消防団員718人が参加し、ユニトピアささやま駐車場で6年ぶりに「操法大会」が開催されました。当日はあいにくの雨模様となりましたが、選手たちは指揮者の号令に合わせてきびきびと動き、ホース延長やポンプ操作などを迅速に行いました。ポンプ自動車の部では、第14分団(西紀南)、小型ポンプの部では第7分団(八上)が見事優勝。ポンプ自動車の部の第14分団は、7月28日に三木市で開催される県大会に出場します。

丹波ささやま茶の寄贈(7月4日)



丹波ささやま農業協同組合から、「丹波ささやま茶(こどもほうじ茶)」が市内の小・中学校、特別支援学校や幼稚園、保育園、子ども園の子どもたちに寄贈されました。熱中症対策や、市内の子どもたちに地元の特産品に親しんでもらうことを目的とされています。

春日江地区でため池が完成(6月28日)



8年の期間を経て、大谷池とフレ谷池の2つのため池改修工事が完成しました。ため池は貯水機能や治水機能を備えた重要な施設です。先人の努力によって作られたため池を、よりよい形で次世代へ継承するため、今後も適切な維持管理をしていただきます。

芭蕉通夜舟

『井上ひさし全巻居その三』所収・新潮社刊

こまろ座 第二五一回公演
井上ひさし 作 鶴山仁 演出

十一月十七日(日) 開演 十五時

内野聖陽

小石川桃子
松浦慎太郎
村上佳
櫻井優凜

入場料(税込)
一般 四、五〇〇円
友の会・グループ割 四、〇〇〇円

友の会予約日 九月七日(土) 九時
一般発売日 九月十四日(土) 九時

＝全席指定＝

問い合わせ
田園交響ホール TEL 552-3600

